令和７年２月号

慈恩寺中だより

学校教育目標「自主自立をめざす生徒」　ｷｰﾜｰﾄﾞ「努力夢現」「挑戦と煌」

今年も“やってみよう“（挑戦から学ぶ）

校長　髙波　國夫

新しい年が始まり、１月初めてチャレンジする機会が多くありました。そこで、チャレンジして学んだことについて、それぞれ生徒にインタビューしてみました。

声を掛け合う大切さ

初スキーの生徒も多かった舘岩自然の教室、●●実行委員長は「大きなケガもなく、みんなよい思い出ができて実行委員長としてよかったです。特に、早く行動できるように、お互いに声掛けをして、協力してできたところが良かったです。準備の大切さも学びました。」●●副実行委員長は「みんな楽しくできたと思うし、いつもできなかったことができるようになりました。特に時間を意識すること、素早く行動すること、声を掛け合うことが高まりました。」

今まで頑張ってきた自分を信じて

初の高校入試（私立）「試験会場について２０００人、周りが全員頭いいんじゃないかと不安になりましたが、今まで頑張ってきたことを出せば戦えるんじゃないかと思って、問題を解くことに集中しました。」「最初国語は緊張して不安なまま受けましたが、高校に入学後の生活を考えたら、気持ちが切り替わり、２時間目以降自信をもって受かるぞという気持ちで試験を受けました。」「時間が足りない、と焦りました。自分を信じてやるのがいいと思いました。」

早めの行動、協力の大切さ

浅草・押上校外学習に行った●●実行委員長は「浅草、武蔵の国で、今まで学んできたことを生かして、調査活動を進め、早め早めの行動、班員と協力し合って、より成長できる校外学習になりました。」

世の中を変える（Ｉ-ｼﾞｪﾝｼｰ）

３年生は「社会貢献」をテーマに研究し、代表９名が岩槻区長と会い、プレゼンをしました。●●さんは「田んぼアートの提案をしました。区長さんは優しく、とてもいい経験になりました。」●●さんは「自分たちが考えた提案を大人に言うことで、解決できそうだなと思いました。」

好きこそものの上手なれ

JBA 埼玉県部会第２回デュエットコンテストで最優秀賞を受賞し、ソロコンテスト県大会で演奏を披露した●●さんは「好きってすごいんだなと思いました。最初、●●さんが吹奏楽を好きで、私も好きになって、この結果が残せた、好きって原動力になるんだな。」●●さんは「最初は本選行ければいいねと言っていたけど、練習期間が短かった中、ちょっとした隙間で練習して結果が出せました。やる気が大切。みんなでさらに楽器を好きになっていきたい。」

トライ＆エラー（挑戦と改善）

年１回の市学習状況調査を受けた●●さんは「今までの授業でやってきたことがたくさん出てきたけど、意外と忘れていた内容が多かった。来年受験なので復習が大切だと改めて思いました。今のうちから復習しておくのがいいと思いました。」

他者から学ぶ（他者参照）

岩槻区作品展に参加した●●さんは「中学生の作品もいいですが、小学生の作品も侮れないなと思いました。他校の切り絵のクオリティも高く、参考になりました。また、受付をして、普通に声がけしても気付かれないこともあり、気付かれないと寂しいもんだなと思いました。」

慈中、岩槻人形博物館とコラボ

美術で制作した紙粘土人形が岩槻人形博物館に初展示。●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、展示中

自ら学ぶ（自律した学習者）

個別指導と映像授業のスタディサプリ、１２月活用率、慈中が１位に（市内中学校）。●●さんは「スタサプは空いた時間にでき、説明動画も３～５分と短く分かりやすく、達成感があり、とても勉強になります」

岩槻区長にプレゼン９名の勇者、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん、●●さん

どの生徒も体験を、目を輝かせながら、話してくれました。話を聞きながら、私も心が熱くなり、勉強になりました。２月もまず、やってみよう。挑戦から学んでいきましょう。